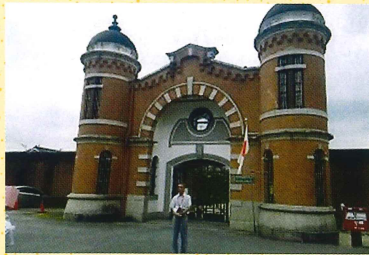


人権協地区委員会活動の紹介

吹三地区現地研修会報告 奈良少年刑務所見学 7月25日(月)



7月25日(月)に人権啓発推進協議会吹三地区委員会では、般若寺、北山十八間戸と奈良少年刑務所へ研修に出かけました。奈良少年刑務所は、明治4年に「奈良監獄」として発足し、明治41年に現在の地に改築移転しました。時の明治新政府の監獄改良の一環として鹿児島、長崎、金沢、千葉の各監獄と同時期に建てられましたが、昭和21年に「奈良少年刑務所」と改称されました。赤レンガ作りの表門は重厚で、高い塀は長々と続き、一見今で言う

とモダンな門構えでありながら厳格な雰囲気を漂わせています。懲役受刑者のうち犯罪傾向の進んでいない26歳未満の受刑者および少年受刑者、また現在裁判中の、未決被収容者も含み約400名程度収監されているそうです。担当者の案内で施設内を見学して歩くと、木工の音、受刑者どうしの規律あるかけ声と初めて見る私たちには驚きでしかないものです。収容棟は扇形に5棟に分かれ各棟廊下の天井は鉄目の柵で上から見渡せ、扇の要(かなめ)のところが2階は全ての棟を監視できるようになっています。担当者の話によりますと、このように明治時代の状態で現在まで使用されている古い建物なので、人権的な面でも課題が多く、近い時期に廃庁されとのことでした。少年刑務所と改称された時から豊かな教育活動が行われ、高等学校の通信制課程の受講や理容師養成所が開設されたり、現在は木材工芸科など様々な職業訓練を行い、また釈放前指導寮生による施設外奉仕活動等の活動が行われてきました。

今回は、私達が普段経験しえない研修となりました。また、受刑者の人達の今後を見守っていきたいと感じました。

吹三地区委員会代表 小林 順子 さん

東山田地区活動報告 「東山田人権協ニュース」について

「人権協ってどんな活動をしているの?」、「人権って何?」、「むずかしそう!」。皆さんが地区委員会の活動をされるととき、そんな声が聞こえてきませんか。東山田地区も例外ではありません。定例会では「どうしたら私たちの活動を分かってもらえるのだろうか?」「人権の大切さをわかってもらえるのだろうか?」という悩みがよく出されます。その時、ひらめいたのが「東山田人権協ニュース」の発行です。試行錯誤しながらの発行ですが、①私たちの活動を分かりやすく紹介しよう。②私たちがどんな気持ちで活動しているのか伝えよう。の二点を大切に、推進委員で分担して記事に取り組んでいます。

特に各号で地域の幼・小・中の園長・校長先生に「人権・学校・地域」の三題話のコラムを執筆して頂いていますが好評です。6号は、初めてカラー印刷で発行しました。

年2回発行、今年度7号の発行に取りかかっています。人権協ニュースを発行して、人権協の存在をアピールできるだけでなく、①私たち自身が人権協の活動を見直し、自信を持って活動を説明できる。②さまざまな内容で人権の大切さ訴えることができ人権啓発の効果がある。などの成果を実感しています。

「人権、人権と言いつぎだ。」という意見もあります。でも皆さん、人権は私たちにとって水や空気のようなもの、それこそ無くなったら大変な社会になります。人権は言い過ぎて丁度良い。「人権が言えない社会」をつくらないためにも…。

東山田地区委員会副代表 後藤 孝司 さん



あなたも人権啓発推進委員になりませんか!

人権啓発を目的に、各地区でいろいろな活動が行われています。

あなたも人権啓発推進委員になって、一緒に活動しませんか。下記の人権協事務局までお問い合わせください。

発行／吹田市人権啓発推進協議会

事務局／吹田市 市民部 人権平和室内 〒564-8550 吹田市泉町1-3-40

電話 06-6384-1539 FAX 06-6368-7345 E-mail suitajinken@wi.kualnet.jp

吹田市 人権協だよ



じんけんネット吹田

No. 41

平成28年(2016年)10月

—2016— 人権フェスティバル

～地域から、心をつなぐ人権の輪～

日時 12/4(日)
13:30~16:00
(開場 13:00)

場所 メイシアター 中ホール
(阪急吹田駅前)

入場無料 手話通訳あり

講演 「誰もが自分らしく、生きられる社会に向けて」～機嫌よう暮らしましょ～



講師 たにぐち まゆみ
谷口 真由美さん

プロフィール

大阪国際大学准教授
大阪大学非常勤講師
全日本おばちゃん党代表代行

1975年 大阪市生まれ。
専門は、国際人権法、ジェンダー法、日本国憲法で、憲法、政治、人権、秘密保護法などについて、各新聞で有識者としてのコメントを求められることが多い。
朝日放送「おはよう朝日です」木曜日、TBS「サンデーモーニング」では、コメンテーターとして活躍中。
著書には、「日本国憲法 大阪おばちゃん語訳」(文芸春秋社)、「憲法って、どこにあるの?」(集英社)がある。

吹田市人権啓発
推進協議会の
設立20周年
セレモニー

20年の
あゆみ

20周年
宣言

2016 市民ひゅーまんセミナー 9月1日(木)14時~16時 参加者101名

講演 (障害者差別解消法と私たち)
～分け隔てなく、共に生きられる社会のために～

講師 まつ なみ
松波 めぐみ さん
(関西大学非常勤講師)

今年4月から施行された「障害者差別解消法」が制定されてきた背景やその内容を分かりやすく説明して頂きました。背景として、「障害」観のシフトを挙げられ、新しい「障害」観は、「一部の人を排除してきた“社会のあり方”こそが問題で、バリアだらけの社会が、障害者の参加を阻み、苦しめている。社会が変われば、障害があっても当たり前前に社会参加できる。」ということです。

法の主な内容として、①不当な差別的取扱い ②合理的配慮を提供しないこと という2つの類型での「差別」の禁止だと説明して頂きました。

最後に「障害者差別解消法」とは、生きづらさ、社会参加の難しさは、社会のバリアがつくっているという現状認識に立って、「社会的障壁を取り除いていくことによって、障害のある人が平等に社会参加し、自らの力を発揮できるようにするための法律」とまとめられました。

「障害者差別解消法について具体的に説明いただき、分かりやすかったです。」「バリアフリー社会の推進が必要と感じた。」という感想が多数寄せられました。

人権協の20年

20年の節目とこれから

今年度より吹田市人権啓発推進協議会の会長に就任し、本当に大きな責任を改めて認識しております。また、歴代会長の皆様方の労に感謝するとともに、更なる人権意識の向上の為、地区委員会の皆様と連携がさらに深まるように努力して参ります。

20年という年月は、例えると人が生まれ、成人となり様々な個性を十分に発揮できる時間に相当します。この間、人権啓発を考え有形無形に様々な活動に取り組んできましたが、同時にこの時間を凌駕するかのように、新たに人権を侵す事象が次々と出現しています。これはモラルに依存出来ない時代を示唆しています。だからこそ、子ども達への人権教育が大切であり、今まで以上に私たち大人には大きな責任と使命があるのではないのでしょうか。

人権啓発は継続されるべきであり、人がうるおいをもって生きていく為には不可欠であります。紙面の制約上で様々な差別や虐待などの例は記せませんが、私たちが知るべき人権侵害は本当に多く存在しています。

自分と他者の違いを認め、相互理解をもって共生する。それが普遍的文化であるという事が人権協の願いであり、これを信念とした啓発を組織として考え実践して参ります。

吹田市人権啓発推進協議会 会長 藤原 俊介



憲法と市民のつどい

憲法と市民のつどい
入場無料
日時 平成25年5月25日(土) 午後1時30分～4時
会場 メインアター 中ホール
吹田市文化会館(吹田市中央1-1-1)
主催 吹田市・吹田市教育委員会・吹田市人権啓発推進協議会

シンポジウム
報道と人権を考える
一松本サリン事件の第一通報者 河野義行氏を招いて一
河野義行氏・浅野健一氏・狩俣正雄氏

憲法と市民のつどい
私の歩んできた道と人権
～人々の「痛み」がわかる社会へ～
講師 野中 広務さん(元内閣府参事官)
コンサート
「南米音楽の出遣い」
藤原 俊介・藤原 しのぶ・青木 謙之助
メインアター 中ホール 阪急吹田駅下車すぐ
2011年5月28日(土)
開場 13:00～ 開演 13:30～
入場無料 手話通訳あり

2013年 憲法と市民のつどい
日時 平成25年5月25日(土) 午後1時30分～4時
会場 吹田市文化会館(メインアター)中ホール
主催 吹田市・吹田市教育委員会・吹田市人権啓発推進協議会

●講演
「絵本で子どもたちを元気に」
講師 長谷川 義史さん(絵本作家)
●ジャズコンサート
出演 永田 カツコさん(ジャズシンガー)
定員 480名(先着順)

人権フェスティバル

'96 人権フェスティバル
日時 12月6日(土) 午後1時30分～4時
会場 メインアター 中ホール
吹田市文化会館(吹田市中央1-1-1)
主催 吹田市・吹田市教育委員会・吹田市人権啓発推進協議会

●第一セッション
「人権と文化」
●第二セッション
「人権と経済」
●第三セッション
「人権と教育」
●第四セッション
「人権と環境」
●第五セッション
「人権と国際交流」
●第六セッション
「人権と未来」

人権フェスティバル
日時 12月9日(土) 午後1時30分～4時
会場 メインアター 中ホール
吹田市文化会館(吹田市中央1-1-1)
主催 吹田市・吹田市教育委員会・吹田市人権啓発推進協議会

●講演
「人権と未来」
●コンサート
「人権と文化」
●ジャズコンサート
「人権と経済」
●シンポジウム
「人権と教育」
●パネルディスカッション
「人権と環境」
●ワークショップ
「人権と国際交流」
●ゲーム
「人権と未来」

2010 人権フェスティバル
～地域から心をつなぐ 人権の輪～
平成22年12月5日(日) 開場 13:00分 開演 13:30分
会場 吹田市文化会館(メインアター)中ホール
主催 吹田市・吹田市教育委員会・吹田市人権啓発推進協議会

●講演
「子どもを叱れない大人たちへ」
講師 桂 才賀さん(法務省少年院矯正施設長)
●コンサート
「国を越え、言葉を越えて」
出演 荻原 浩二さん(シンガー)
●人権作品・人権映画の上映を行います

市民ひゅーまんセミナー

96 市民ひゅーまんセミナー
日時 平成22年9月22日(水) 19:00～21:00
会場 吹田市文化会館(メインアター)中ホール
吹田市文化会館(吹田市中央1-1-1)
主催 吹田市・吹田市教育委員会・吹田市人権啓発推進協議会

●講演
「社会の死角(貧困)をなくすために」
講師 湯浅 誠さん(NPO法人 自立生活サポートセンター・もちい事務局長、元大阪府社会福祉局長、元大阪府社会福祉協議会会長)

2010市民ひゅーまんセミナー
平成22年9月22日(水) 19:00～21:00
吹田市文化会館「メイシアター」中ホール
(お茶の間の会場はご遠慮ください)

講演
「社会の死角(貧困)をなくすために」
講師 湯浅 誠さん(NPO法人 自立生活サポートセンター・もちい事務局長、元大阪府社会福祉局長、元大阪府社会福祉協議会会長)

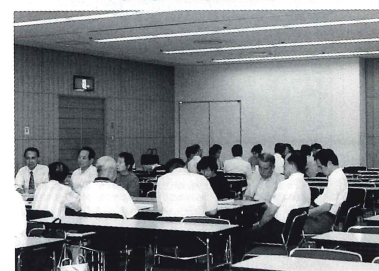
2013 市民ひゅーまんセミナー
事前申込不要・入場無料・手話通訳あり
9月5日(水) 14時～16時 9月11日(水) 14時～16時
吹田市文化会館(メインアター)中ホール
吹田市文化会館(吹田市中央1-1-1)
主催 吹田市・吹田市教育委員会・吹田市人権啓発推進協議会

●講演
「社会の死角(貧困)をなくすために」
講師 湯浅 誠さん(NPO法人 自立生活サポートセンター・もちい事務局長、元大阪府社会福祉局長、元大阪府社会福祉協議会会長)

通常総会



代表研修会



企業研修会



H20.広島平和大使



地区委員会活動



●H.8 国際交流



●H.9 人権講座



●H.9 コンサート



●H.14 現地研修

人権カルタ作成

人権協だより発行

人権カレンダー作成

人権パネル作成

人権ビデオ・DVD貸出

人権啓発推進委員の人数の推移

平成8年	662人
平成9年	851人
平成10年	1,112人
平成11年	1,175人
平成12年	1,225人
平成13年	1,227人
平成14年	1,259人
平成15年	1,312人
平成16年	1,384人
平成17年	1,433人
平成18年	1,458人
平成19年	1,552人
平成20年	1,552人
平成21年	1,557人
平成22年	1,638人
平成23年	1,709人
平成24年	1,702人
平成25年	1,685人
平成26年	1,652人
平成27年	1,598人